

Q14. 市民活動、市民協働全般について、意見・要望などがありましたら、次の自由回答欄へお書きください。

自由記述

※原文ママ

- ・市民活動が何なのかよくわからないので、もっと透明化をして欲しい。アンケートの文言も難しい文言が多く、理解しがたいものが多かったので、多くの人にわかりやすく、伝わりやすい言葉で市民活動がなんなのか、どういった効果や活性につながるかを明確にし、多くの人の協力が得られればなと思いました。
- ・地域社会の高齢化が加速し、地域の担い手不足が深刻な問題であります。それ故、活動する住民が限られ一人当りの負担が増加傾向にあります。「この先日本はどの様になってしまうのか」と不安になる事があります。私自身は微力ですが、時間の許す限り地域のために貢献できる事があれば協力したいと思っています。
- ・多くの市民、もちろん私も含めてまだまだ協働の考え方について未熟だと思う。まずは、コーディネーターの人がいて、活動を起こし、そこで育った人達が活動を広げていけると良いと思う。父が今年度から自治会の老人会長となり忙しくしてはいるが、80になってからは気持ちが芽生えても体がついていけないようである。
- ・市民一個人が活動を始める事は大変且つ勇気のいることで、余程の興味がないと出来ません。市報などでの紹介が有れば？
- ・誰でも気楽に参加できる体制になればと思います
- ・ツナガルよっかいちを見てみたいと思いました。
- ・知らないことがたくさんあるので、まずいろいろな情報がほしいです。情報発信方法も考えてほしいと思います。ネットの場合、だれが見てもわかりやすくしてほしいです。探しにくい見にくいはやめてほしいと思います。
- ・連合自治会も協働の一つですが、高齢者がトップで若い人材を排除している事、若い人材が寄り付かない過去の遺物になってる所に、担い手の育成や組織の活性化をさせるのは難しいと考えます。経験は必要ですが過去に囚われる経験は必要ない。
- ・行政が真摯に取り組むこと。
- ・市民活動には、市民の意見の一致が重要であり、民主的な運営が必須であると思う。
- ・特になし
- ・知らない方が多いと思うので、わかりやすく説明が必要だと思います。
- ・全く知らなかった。具体的にどんな活動しているのか？ もっとPRしてほしい。
- ・市民文化部内にとどまらず、市役所1階の受付付近で展示・告知して欲しい。
- ・地域でのひとりひとりの意識が低いため、もっと関心を持って欲しい
- ・福祉、教育(学校)に偏りすぎている。もっと、災害、環境、まちづくりにも力をいれるべき
- ・少子高齢化、人口減少という社会情勢の中で、従来の競争社会から共創社会へと意識や仕組みを変える必要がある
- ・行政と市民は何事もあらゆる機会を利用して情報送受信と情報共有が必要だと思います。
- ・何が出来るのか？しなければいけないのか？それすら分からないので、まずは興味を持つ所から始めたいです

- ・現在参画者とその他の市民との意識の乖離が大きい。高齢者ほどその間のバリアは厚くて高いので、それを打ち砕くきっかけが欲しい。
- ・特にありません。
- ・市民活動の団体の多くは、個々にまとまり過ぎている感じをうける。市が中心となり交流や盛り上げると、参加者が増えるのではないだろうか。
- ・どこで何をしているかの情報を皆がわかるようにしないといけないと思う。そのための情報を市が提供しつつ市民に意識を持たせることも大切と思う。
- ・以前に、四日市の空気の質、NO₂（だったか？）を調べたことがあります。その時に、協力者を募ったのですが、自分の身の安全に直結することなら、普段、市民活動とかボランティアに興味のない方でも、けっこう関心を持って協力してくれる、ということを感じました。
- ・内閣府や県との連携
- ・市民活動を行っている方の顔ぶれは同じなので、もっと各企業から初心者ボランティア体験など親子で参加できる入門編をアピールしてまず体験してもらい興味をもってもらう。又活動する団体は資金難から規模の縮小をする為、少人数になると仲間意識が強く入りにくい。不特定多数のボランティアを入門編として広めるのが良い。吉崎海岸の清掃、街中のクリーン作戦、公共交通の利用促進など
- ・上層部から降りてくるのではなく市民の側から湧き上がる意思を大切に取り上げてほしい
- ・正直なところ、あまりなじみのない話題です。どういったものか、具体的にイメージしにくいし、今の時代、自分のことのみに目が行っている人が多い中、それなりの発信をしないと、なかなか周知も協力も得られないのではないのでしょうか。時間的・金銭的な問題も大きいと思います。
- ・見回り隊や交通安全運動等々の不正監視、会の目的・運営が宗教活動・議員活動と繋がっている。
- ・市民協働参加条例が適用される市民活動は地域密着で街おこしの事を行い、平和・人権・平等・権利からコスモポリタンであるとかダイバーシティ化などを市民が主役になって行くと政治色が強くなり一般市民の参加が鈍り、一部の声が大きな市民？の意見が多く取り入れられる可能性があり、広い視点に立って公益性を考えられない可能性が高く慎重にすべきだと考える。
- ・「市民」という名を冠した活動というと近年では胡散臭さを感じられるものが多いという印象を受ける。したがって私は現在のところ「市民」を冠した活動に関与する気はない（せいぜい自分に関連する自治会の活動くらいか）。恐らく過去の歴史において、思いを共にするものが自主的に集まって形成された思想集団というものはほぼなく、何らかの誘引する勢力により形成されるはずである（それが左翼思想であれ何であれ）。今回の設問に想定される団体、協働がそれと違うことはわかっているし、そうではないというのが行政の答えであろうが、必ずそういう目で見られる可能性、また利用しようとする勢力の関与は否定できない。故に、透明性とコーディネート能力が活動主体には求められると考える。
- ・特にありません
- ・足が踏み出せない・住居の辺鄙さや、PRの不足
- ・先に始めている方々が偉そうだとがっかり。皆んなで創って行く意識改革が大事。新しく入った人は不安もあるので上から目線で偉そうにされるのは違うと思います。
- ・私は、「市民協働」という言葉が当初から大嫌いです。ともに活動し働くという意味でしょうが、ともに活動し「動く」であると思いたい。「働く」という言葉には金銭（賃金）が伴うと思います。この「働く」を「動く」に変えることはできないか。
- ・生活にゆとりがないものにとって、市民活動は難しい。

- ・市民に広く動機づけをする広報活動が重要。 地域で開催される各種イベントに広報マンを派遣していく。
- ・高齢者が活動できる場づくり ・世代間の交流事業の開催 ・自然環境（里山保護）活動の取り組み
リタイア後の人材活用を積極的に進める事で 担い手となる人材を集めては如何でしょうか
- ・少子高齢化、経済事情等を考えると、行政主体から市民協働への流れが必要と思われる。個人レベルで市民活動へより深く関心を持てるような仕組みが必要かと思う。
- ・近隣、友人、知り合いなど声掛けを行うこと。励みになるお茶一本でもインセンティブが必要です。
- ・自分は高齢者になったが高齢者が家に閉じこもりがちなのを残念に思っています。近鉄周辺には高齢者が集まる場所があると聞きますが町内にも気軽にサンダルばきでいつも集まれる処があるといいのですが。若い人に何かをしてもらうのではなく自主的なサークルなどほしい。
- ・住みよい四日市市を市民全体で盛り上げるには、活動する組織を各地区市民センターが積極的にかかわり立ち上げ、市民に参加を働きかける
- ・高齢者でもできることがあれば参加したい。でも、何か問題点が発生した場合に責任を問われるのはいやだ。昨今、責任を他人に転嫁する風潮があり参加に不安がある。
- ・自宅または職場の前の草取り。
- ・共同、協同は辞書にありますが、協働は記載されていない。ここから勉強です。
- ・定年後は是非参加したいと思う。
- ・それぞれの活動は、とても頑張ってらっしゃいます。四日市市は、ポータルサイトを作り、それを支援する立場にいます。市にとって有益な活動については、ビジネス的に捉えても良いのではないのでしょうか。（結果、市の業務効率があがるのであれば。）わたくしもそうですが、市民活動は使命感ではなく、趣味の延長線として活動されている人が多いと思います。市役所と市民が winwin の関係を築け、活動が長続きする事が最も良い事だと思います。 また本アンケートの目的は何でしょうか。市民協働を広く伝えるなどではなく、何か課題があるのであれば、〇〇の課題解決のためにアンケートを行いたいなど、趣旨を具体的に実施すべきだと思います。そうした方が市民も親身になって回答するのではないのでしょうか。
- ・名張市のやっている「ゆめづくり協議会」のような組織が、 四日市市にもほしい。
- ・さらなる情報発信に努めてほしい。
- ・どのような活動があるのかを、もっと広く公開するべき。
- ・まだまだ情報発信が少ない。
- ・若者から広く知らしめるために もっとインターネットを活用すべきかと、フェイスブックやインスタグラム・ツイッターなどフルで活用できたら結構広がりが出るように思う。
- ・よくわからない
- ・特にありません
- ・特になし
- ・森市長さんもお若いので、市民の若い世代も活動を始めやすいに違いないと思います。四日市は NPO 団体も多いと聞きますし、身近に感じられる四日市をアピールしていけば開けたアイデアや人材が活動し始めるのではないかと。
- ・市民活動、協働、とは？ どのような事ですか？それ自体を知りません。
- ・活動する事は良い事だと思うが、“強制”をし始める人が必ず出ると思うので、それを注意しなくてはならないと思う。

- ・市民活動、協働と「丸投げ」していないですか？ 防災関連、避難指示して行政の責任回避は、見苦しい。河川氾濫の予測システムの構築の計画はあるのか…などなど多々あります。
- ・健康で元気な意欲ある人材を分野別の登録制度を設けてはどうか
- ・市民活動に必要と思うことは、公共性、活動費用が安価、参加者に知識や技能などが還元される、運用には指導者は必要ですが参加者の活動経験の度合いに応じて、指導的立場を輪番で担うような制度化し、活動の長期継続性を図る。
- ・何をするにしてもコミュニケーション次第と思う。
- ・市民協働は win win の関係で、お互いに報われる形が取れるのが良いし、行政がその中に入っているだけでスムーズになるのではと考えます。
- ・担い手となる人材の開発と育成を早い時期から考える
- ・今まで参加したことがあるが、地域政党、意を受けた役所の主導で、都合の悪いことは、なるべく隠す傾向が強かった。議員と役 人の接触に透明性（公表）を持たせるべき。